



令和8年3月23日

国土交通省関東地方整備局

常総国道事務所

東日本高速道路株式会社関東支社

つくば工事事務所

事業連絡調整会議（第8回）の開催結果について

～東関東自動車道水戸線（潮来～鉾田）～

東関東自動車道水戸線（潮来～鉾田）の現在の進捗状況等について、国土交通省、茨城県、沿線市及び東日本高速道路株式会社で情報共有を図るため、「東関東自動車道水戸線（潮来～鉾田）事業連絡調整会議（第8回）」を開催しましたので、開催結果をお知らせします。

開催日時：令和8年3月23日（月） 10時00分～10時30分

会議形式：Web会議

構成機関：国土交通省 関東地方整備局 常総国道事務所
常陸河川国道事務所

茨城県土木部道路建設課

潮来市建設部

行方市建設部

鉾田市建設部

東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所

議事概要：別添のとおり

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 茨城県政記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 常総国道事務所

電話：029-826-2040（代表） メールアドレス：ktr-jousou@mlit.go.jp

副所長 松川（まつかわ）

東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所

電話：029-836-7755（代表） メールアドレス：tsukubakou@e-nexco.co.jp

副所長 星（ほし）

東関東自動車道水戸線（潮来～鉾田）事業連絡調整会議（第8回）
開催結果概要

1. 日時

令和8年3月23日（月） 10:00 ～ 10:30

2. 出席者

茨城県 土木部 道路建設課長 大塚 秀二
潮来市 建設部長 濱野 一也
行方市 建設部長 堀井 健司
鉾田市 建設部長 宮本 勝彦(代理)
国土交通省関東地方整備局 常総国道事務所長 中谷 文治
常陸河川国道事務所長 佐々木 哲也(代理)
東日本高速道路株式会社関東支社 つくば工事事務所長 池田 浩基

3. 議事概要

今回の調整会議において、事業の進捗状況及び行方PA（仮称）の進捗状況について事業者から茨城県、潮来市、行方市、鉾田市に報告があり、以下の事項を合わせて確認した。

(1) 現在の進捗状況

- ・用地取得率は現在約99%。現在、全線で工事を実施中。
- ・行方PA（仮称）は順次用地買収を実施。工事着手前に用地買収範囲の詳細な地質調査を実施予定。
- ・電力線等の支障物件92ヶ所のうち、残り3ヶ所の移設を実施中。

(2) 事業の進捗に関する留意事項

- ・切土部で発生した土を盛土工事へ活用するにあたり、一部の土は性状が悪く土質改良を実施。
- ・軟弱地盤対策工が必要な区間は、地盤改良とともに沈下促進のために追加で盛土を実施。
沈下促進対策は地質調査を基に解析を行い施工管理をしているが、潮来IC～行方IC間において沈下が長期化している箇所が存在。

(3) 今後の開通見通しについて

- ・用地の明け渡しは完了し、支障物件の移設も順調に推移。
- ・行方IC～鉾田IC間については、令和8年度半ばの開通を目指す。
- ・令和8年度の開通を目指している潮来IC～行方IC間については、新たな課題等が工程に及ぼす影響を確認しながら工事を進めていく。
- ・今後もコスト縮減を図りながら事業を推進する。

以上

東関東自動車道水戸線(潮来～鉾田) 事業連絡調整会議(第8回)

説明資料

令和8年3月23日

国土交通省関東地方整備局
常総国道事務所
常陸河川国道事務所
東日本高速道路株式会社関東支社
つくば工事事務所

<目次>

1. 現在の進捗状況について

- ・工事の進捗状況
- ・行方PA(仮称)・地域振興施設の進捗状況
- ・支障物件移設の進捗状況

2. 事業の進捗に関する留意事項

3. 今後の開通見通しについて

現在の進捗状況について

- 平成21年度から用地取得に着手し、用地取得率は現在約99%（令和8年2月末時点）
- 平成27年度から工事に着手し、現在、全線で工事を実施中

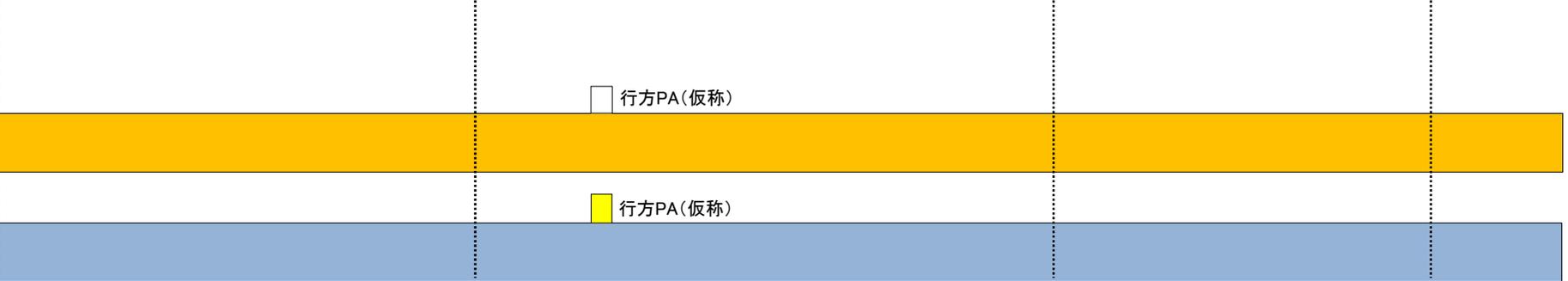
東関東自動車道水戸線（潮来～鉾田） L=30.9km(2/4)



進捗状況

工事状況

用地状況



用地取得率 約99%
※本線開通に必要な用地取得は完了



現在の進捗状況について(潮来IC～潮来行方IC)

■工事進捗状況 東関東自動車道水戸線



潮来市延方地区



潮来市小泉地区



潮来市築地地区



至千葉

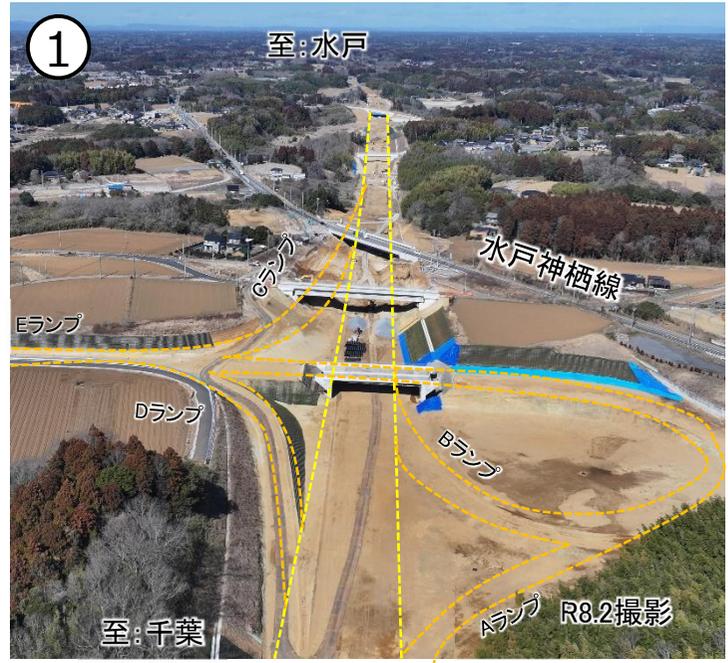
至水戸

現在の進捗状況について(潮来行方IC～行方IC)

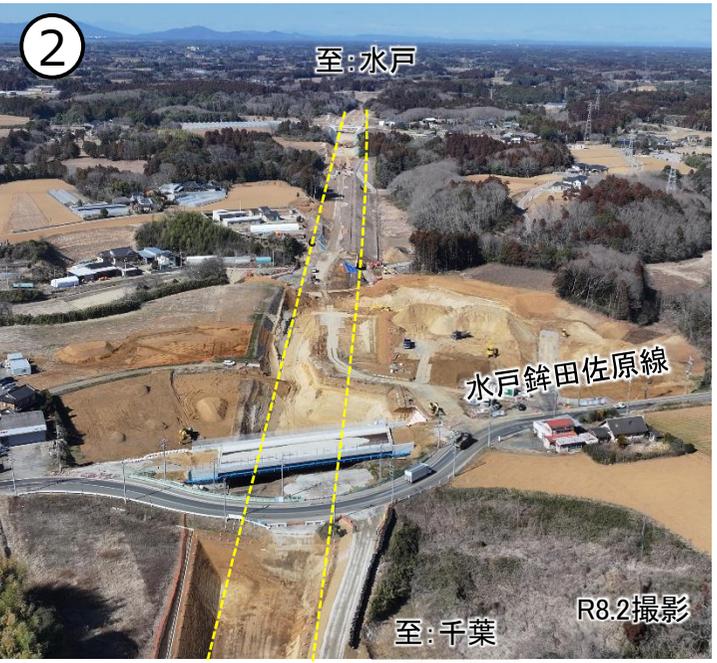
■ 工事進捗状況 東関東自動車道水戸線



潮来行方IC



行方市青沼地区



行方市内宿地区



至千葉

至水戸

現在の進捗状況について(行方IC～銚田IC)

■工事進捗状況 東関東自動車道水戸線



行方IC



行方市両宿地区



銚田市塔ヶ崎地区



行方PA(仮称)・地域振興施設の進捗状況について

- 整備形態: 地域活性化の場として活用できるように地域振興施設を併設(農産物等の地域資源の有効活用などを予定)
- 地域振興施設は、行方市が施設整備の方針となる「行方市地域振興施設(道の駅)基本計画」を令和7年3月に策定
- 行方PA(仮称)は、令和6年9月から用地交渉を開始し、順次用地買収を実施
- 工事着手前に用地買収範囲の詳細な地質調査を実施予定

行方PA(仮称)・地域振興施設の設置位置



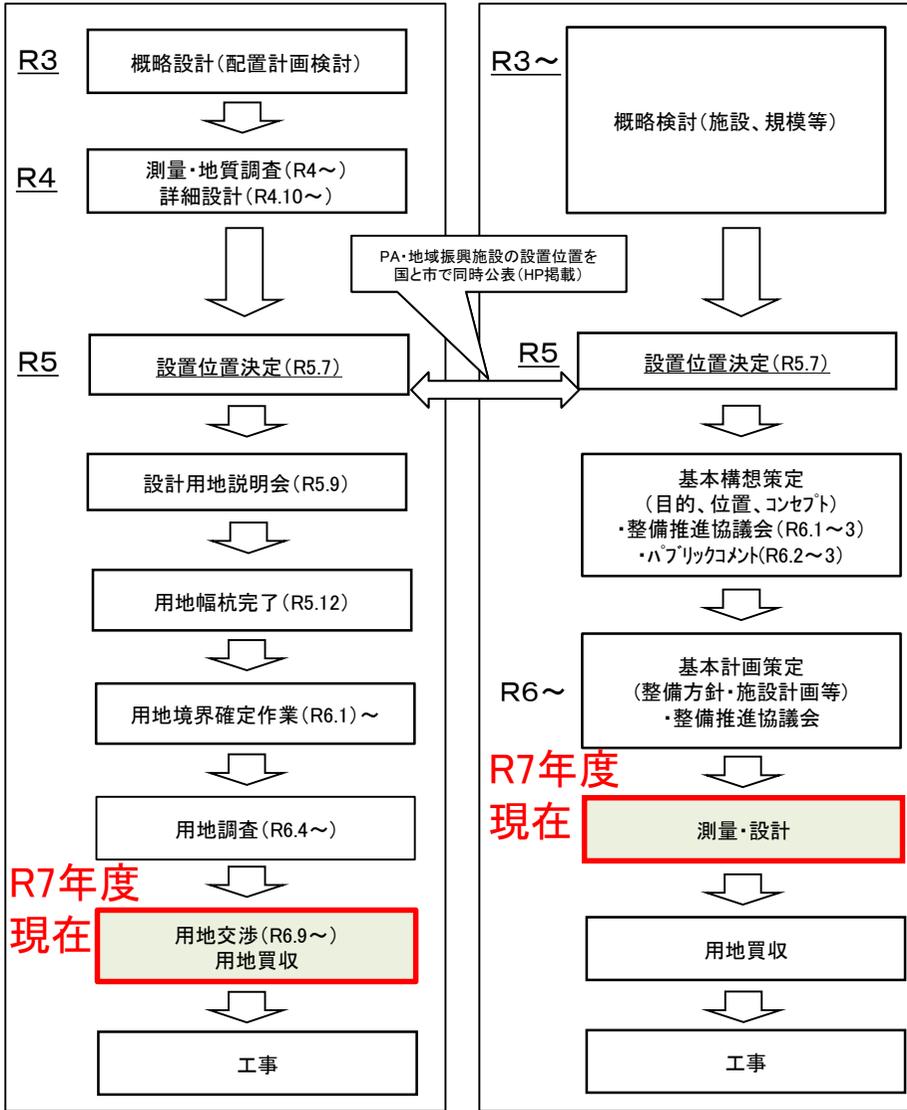
出典) 位置図は、R5.7 国土交通省関東地方整備局常総国道事務所HP
 『『東関東自動車道水戸線(潮来～鉾田)』行方パーキングエリア(PA)(仮称)及び地域振興施設の設置位置について(お知らせ)』を一部修正

行方PA(仮称)・地域振興施設の施設配置イメージ



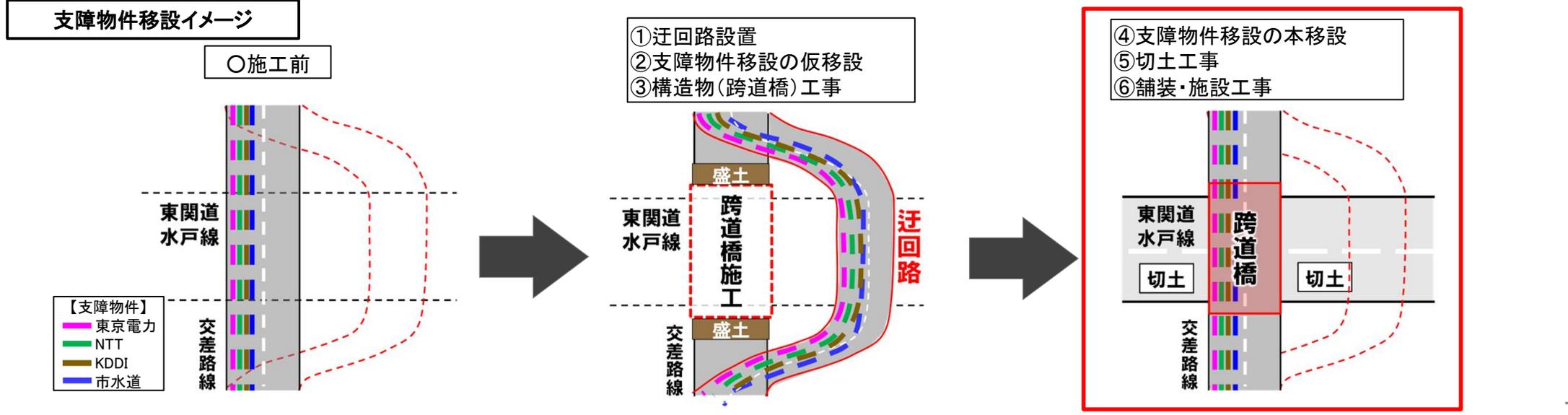
出典) 行方市地域振興施設(道の駅)基本計画(R7.3)

行方PA(仮称)＜国＞ 地域振興施設＜行方市＞



支障物件移設の進捗状況について

- 交差道路の跨道橋、横断函渠等の工事が完了し、現在、電力線等の支障物件の本移設を実施中
- 全工区の支障物件92ヶ所のうち、残り3ヶ所の移設を推進中
- 支障物件移設は、概ね令和8年3月末までに完了する見通し
- 引き続き、事業工程に影響しないよう、管理者と密に連絡を取りつつ調整を進める



事業の進捗に関する留意事項(工事)

- 東関道はコスト縮減や環境への負荷を考慮して、切土部から発生した土砂を盛土工事に活用
- 地質調査結果よりも切土部の利用可能な土(良質土)の層厚が薄く、土質試験の結果、一部の土は性状が悪く、盛土材として適合しないことが判明し、追加で土質改良を実施

発生土の土質改良

切土区間の状況

水を多く含む箇所や締め固まりづらい土のため不陸が発生する箇所など土の性状が悪い区間が多い

硬く締まっていて良質な地盤



土の性状が悪い切土区間の状況



地下水位が高く、掘削中に湧水が発生



締め固まりづらい土のため不陸が発生

現場の地盤は、盛土材としては軟らかく土質改良が必要

土質改良

地盤の状態(目安)
(コーン指数: kN/mm²)

盛土材として必要な固さ	400以上
-------------	-------



含水比・粒度が均一で良質な土の状態

地盤の状態
(コーン指数: kN/mm²)

試料土①	253
試料土②	130



含水比・粒度が不均一で土が脆い状態

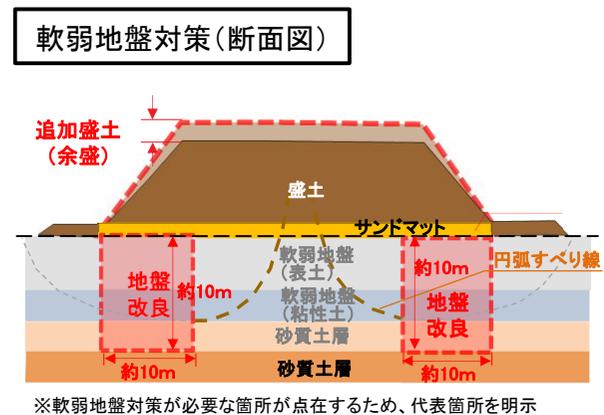
※コーン指数 ⇒土の固さを表す指標
数値が大きい⇒土が固い
数値が小さい⇒土が軟らかい



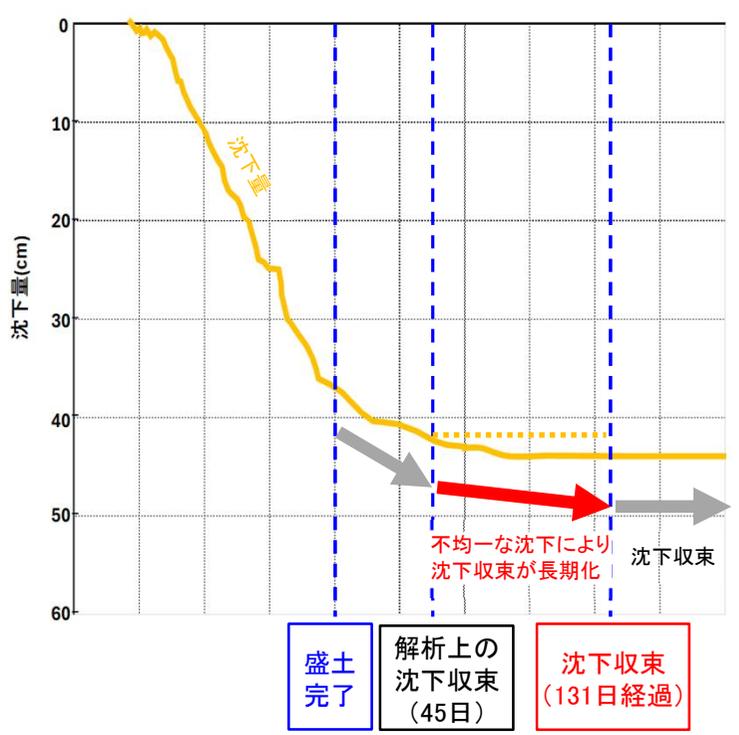
土質改良施工状況

事業の進捗に関する留意事項(工事)

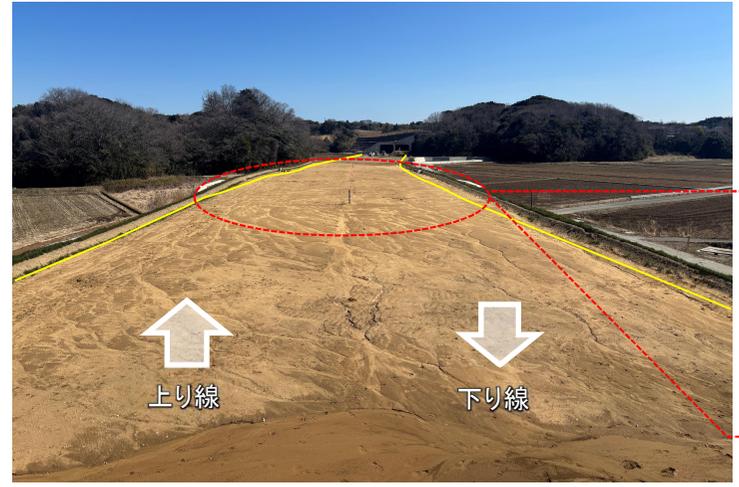
- 軟弱地盤対策工が必要な区間は、円弧すべり対策のため地盤改良を実施するとともに、沈下促進の対策のため、追加で盛土を実施
- 沈下促進対策は地質調査を基に解析を行い施工管理を行っているが、潮来IC～行方ICにおいて沈下が長期化している箇所が存在



軟弱地盤における沈下収束の状況



現地の沈下状況



不均一な沈下により、盛土完了後にひび割れや段差が発生するなど、沈下収束が長期化



今後の開通見通しについて

- 東関東本線の用地の明け渡しは完了しており、支障物件の移設も令和8年3月末までに完了する見通し
- 行方IC～鉾田IC 間については、前倒しで令和8年度半ばの開通を目指す
- 令和8年度の開通を目指すとしている潮来IC～行方IC間については、新たな課題等が工程に及ぼす影響を確認しながら工事を進めていく
- 今後も引き続き、コスト削減を図りながら事業を推進する

東関東自動車道水戸線(潮来～鉾田) L=30.9km(2/4)
令和8年度の開通を目指す

